



中国デジタルサイネージ 2013年ビジネス最前線

2013年5月14日

上海さくらインベストメント
上海櫻達投資諮詢有限公司
Shanghai Sakura Investment Consulting Co.,LTD

上海さくらインベストメント
上海櫻達投資諮詢有限公司
Shanghai Sakura Investment Consulting Co.,LTD



総経理 酒井 洋道

上海市延長路149号 上海大学科技楼6F 200072

<http://sakura-invest.com>

Mob. 86-156-1835-7991

Mail. sakai@sakura-invest.com



中国投資企業のニーズ



■中国の投資企業が日本の優れた「技術」「ブランド」「権利」「ノウハウ」に対して投資を行います。

■中国企業の投資対象は、「日本(世界)で競争力を持つ」「中国国内での競合が少ない」「中国人文化に受け入れられる」「自らの力で中国国内で事業として成功出来る確信がある」というファクターがクリアできれば可能性が高まります。

■当社は、日本側企業のアグリゲート、アレンジメントを行い、「ライセンス提供」「合弁事業」等様々なニーズに対応するストラクチャ構築をサポート致します。

■事業のスタートアップから事業拡大フェーズまで、事業戦略立案、パートナー・アレンジメント、販路拡大等あらゆる角度からサポートを行います。



中国企業の投資対象について、事業スタートアップについて、事業拡大について、数多くのコンサルティング実績を持つ当社が戦略的に中国事業をサポート致します。



当社は中国投資コンサルタントとして、中国投資企業と提携、様々な事業のスタートアップ、事業拡大に携わっております。

中国内資
投資企業
新規投資開発事業

日系
Web制作・SEM
事業

中日合作
音声認識技術事業

中国内資IT企業
ISP/ICP事業
(SEO&広告技術)

日中合併
広告・PR企業

中国内資IT企業
コンサルティング

中国広告媒体
開発

日中合作
ダイレクトマーケティ
ング事業

中国上海新三版
上場支援

中日美術ファンド
フィナンシャル
アドバイザー

日本技術移転
支援事業

日系大手小売企業
マーケティング支援

他、多数実績あり

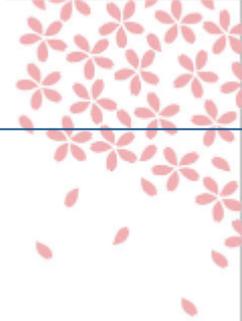
【SAKAI Hiromichi / 酒井 洋道】

上海櫻達投資諮詢有限公司 総経理

上海で投資コンサルタントとして活動中。

IT、広告、マーケティング、サービス業をメインに様々な事業のスタートアップ、事業拡大に関わっています。

- ・上海投資企業の新規投資開発事業コンサルタント
- ・上海投資コンサルティング企業 総経理
- ・上海日系Webマーケティング企業事業開発室長
- ・上海日系PR企業 董事・執行総経理
- ・上海日系Web制作企業 事業部長
- ・中国内資広告会社 副総経理
- ・中国国内広告媒体開発事業コンサルタント
- ・中国美術基金フィナンシャル・アドバイザー
- ・中国ダイレクトマーケティング・コンサルタント



中国デジタルサイネージ ビジネス最前線

■象徴的な中国デジタルサイネージ

媒体位置 上海・浦東 CityBankビル

媒体規格 43.2m(横)×139.6m(縦)=6,030㎡

放映時間 18:30-22:30(14,400秒/日)

媒体接触 1,012,651/日

媒体価格 30秒/60回/日×一週間
=300,000 (秒単価23.81元)

参考売上想定

172,800/日(@20元60%)

約2,592,000円(15円計算)

63,072,000/年(@20元60%)

約946,080,000円(9.33億円)

(15円計算)



■象徴的な中国デジタルサイネージ

媒体位置 上海市内徐家匯交差点 東方デパート

媒体規格 33.6m(横)
×8.96m(縦)=301m²

放映時間 9:00-23:00
50,400秒 /日

媒体接触 平均約 245.7万人/日

媒体価格 30秒/60回/日×1週間=500,000人民元(7,500,000円)
(秒単価39.68元=595.24円)



参考売上想定

831,600/日(@33元50%)

約12,474,000円

303,534,000/年(@33元50%)

約4,553,010,000円(45.5億円)

(1元=15円で計算)

■象徴的な中国デジタルサイネージ

媒体名 安欣(Easy Life)

- ・映像・スライドショー
- ・機能インストール(クーポン・コンテンツ)
- ・スクリーンセイバー 等

設置場所 上海市内主要地下鉄コンコース

- 媒体規格
- ・上部32インチ液晶
 - ・センターモニターはタッチパネルにて
 - ・下部46インチ液晶



-
1. 携帯電話のチャージ
 2. 公共費(電気、水、ガス、電話等)支払い
 3. 交通カードのチャージ
 4. クレジットカードの返済
 5. 銀聯ICカード業務
 6. 交通カードポイント業務
 7. ポイント関係業務
 8. 高速鉄道チケット予約
 9. 銀行カード業務
 10. アリペイ(支払宝)
 11. 福利宝くじ
 12. 映画チケット予約
 13. クーポン券
 14. 銀行カードイベント
 15. 保険
 16. 安欣ショップ
 17. 携帯電話ポイント(中国聯通)
 18. イベント(コンサート、話劇等)チケット予約

■象徴的な中国デジタルサイネージ



放映時間 6:30-22:30 57,600秒 /日

設置数 約300台

媒体価格 【映像・スライドショー】
15秒×300回/日/台
2000元(30,000円)

【クーポン機能】
1か月=50,000元(750,000円)

【スクリーンセイバー】
1か月=80,000元(1,200,000円)



■ 日系企業の出稿例

媒体位置 上海市内百盛デパート
1階入り口 交差点付近

円柱形式で、商品(デジタル腕時計)を
配置させたコンセプトで訴求。
裏側はポスター。

媒体価格 年間900万元(13,500,000円)

**地下鉄駅構内には、水槽型のガラスケースに商品を配置させる事も行っている。
参考価格 年間100万元(15,000,000円)



■中国デジタルサイネージ・ビジネスのポイント

1	事業の決断	中国における事業を起業する際、所轄、関係各社(製造メーカー、システム、コンテンツ、広告関連企業)全てにおいて前進あるのみ。
2	所轄の許認可	屋外設置となる広告媒体は、通信管理局(許認可)・工商関係所轄(経営ライセンス)・宣伝部(コンテンツ許諾)・環境部等許認可が必要(順不同)省が異なれば、関係構築からの対応が必要。
3	広告価値の決定	日本やアメリカ等と異なり、媒体価値は類似媒体を参考にして決定しているケースが多い。つまりアバウト。
4	媒体権利の譲渡	ビジネスが不動産に類似して扱われる。ある意味で分かりやすい。土地建物権利者、所轄の許諾を受けた後に転売というケースも。
5	広告主の出稿	類似大手広告会社(デジタルサイネージ専門)のセールスパワー大。経営に余裕のある国有企業の経営者へのトップセールスだけで決まる時も。
6	メーカー	圧倒的に中国内資メーカーがコストでアドバンテージ。「そこそこ良ければ十分」で、大きな収益が得られる。クオリティもそれなり。
7	消費者	基本的に企業の広告を信用していない。しかし、広告を出さない企業はもっと信用しない。認知後に必ずwebで検索し、信用すれば購入。

■ 日本企業の中国進出の可能性



・広告媒体開発ノウハウの提供



・広告媒体価値のバリューアップノウハウ提供



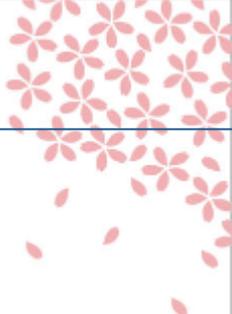
・広告編成・管理システムのライセンス提供



・事業に関するコンサルティング



・投資(マイノリティ・主体は中国側) **パートナーとの信頼関係



Thanks

T U S U K ?

酒井 洋道 sakai@sakura-invest.com / 86-156-1835-7991